



みなさまと
いづろ今村病院を
つなぐかけ橋

2026 Winter
Vol. 78

発行／公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 広報委員会 季刊



01 **特集**

肥満と肥満症、その原因について

03 診療科紹介 ▶ 緩和ケア内科

05 教えて! 先生 ▶
高血圧管理・治療ガイドラインが
改定されました!

07 部署紹介 ▶ 看護管理室

08 慈愛会クリニック

09 ニュース&トピックス

診療プログラム

肥満と肥満症、その原因について

参照：肥満症診療ガイドライン2022 編集 日本肥満症学会



新中須医師

肥満と肥満症

肥満とは、脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、体格指数 (BMI=体重(kg)/身長(m)²) ≥25以上のものをいいます。一方、肥満症とは、肥満が原因、もしくは関係する健康障害を合併するか、その合併が予想されるため、医学的に減量を必要とする疾患のことです。つまり、肥満症とは、肥満のうち、「肥満症の診断に必要な健康障害」(表1)を合併する場合で、心身に障害をきたしている状態をいいます。肥満症診断のフローチャートは図1の通りです。

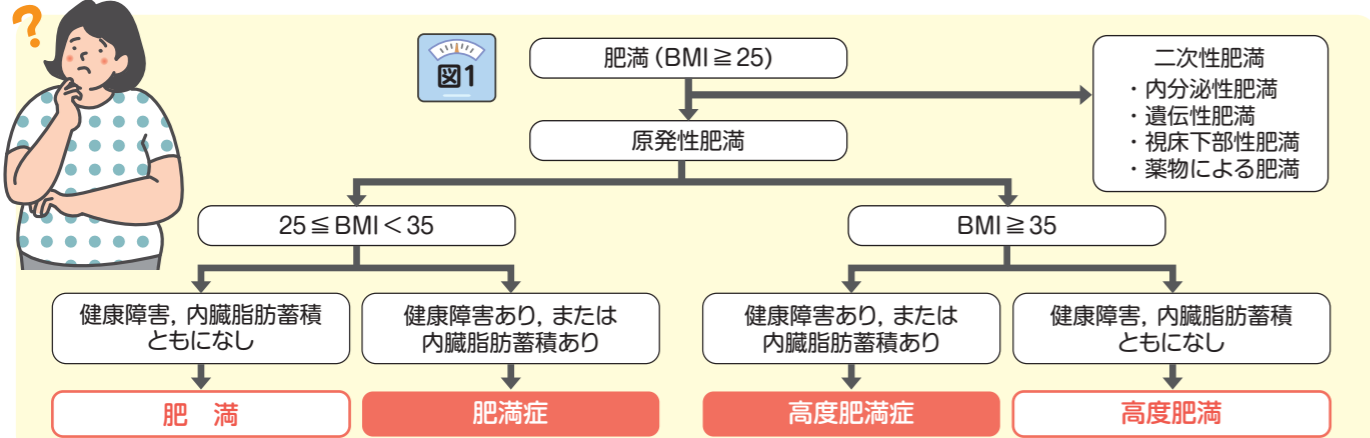
表1

1. 肥満症の診断に必要な健康障害

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1) 耐糖能障害 | 8) 月経異常・女性不妊 |
| 2) 脂質異常症 | 9) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群 |
| 3) 高血圧 | 10) 運動器疾患 |
| 4) 高尿酸血症・痛風 | (変形性関節症：膝関節・股関節・手指関節、変形性脊椎症) |
| 5) 冠動脈疾患 | 11) 肥満関連腎臓病 |
| 6) 脳梗塞・一過性脳虚血発作 | |
| 7) 非アルコール性脂肪性肝疾患 | |

2. 肥満症の診断には含まれないが、肥満に関連する健康障害

- | | |
|---|---------------------|
| 1) 悪性疾患：大腸がん・食道がん(腺がん)・子宮体がん・膵臓がん・腎臓がん・乳がん・肝臓がん | 5) 皮膚疾患：黒色表皮症や摩擦疹など |
| 2) 胆石症 | 6) 男性不妊 |
| 3) 静脈血栓症・肺塞栓症 | 7) 胃食道逆流症 |
| 4) 気管支喘息 | 8) 精神疾患 |



二次性肥満について

肥満の原因には、生活習慣に起因し、様々な要素が原因となる原発性肥満と原因が明らかな二次性肥満があります。二次性肥満は全体の10%程度といわれ、表2のようなものがあります。生活習慣を改善しても肥満が改善せず、肥満治療のためには、これらの原因疾患の治療が必要となるため、鑑別が重要です。

表2

二次性肥満

- 1) 内分泌性肥満
- 2) 遺伝性肥満 (先天異常症候群)
 - ① Bardet-Biedl症候群 ② Prader-Willi症候群
- 3) 視床下部性肥満
 - ① 間脳腫瘍 ② Fröhlich症候群 ③ empty sella症候群
- 4) 薬物による肥満
 - ① 向精神薬 ② 副腎皮質ホルモン

内分泌性肥満

二次性肥満として、内分泌疾患が原因となるものもあり、肥満症の治療の前に正しい診断が必要となります(表3)。典型的な症状を示さない場合も多く、疑われた場合は、しっかり検査をすることが重要です。

表3

内分泌性肥満

- 1) Cushing症候群
副腎から分泌されるホルモン(コルチゾール)の過剰分泌によりインスリン抵抗性が生じ、高インスリン血症となる。インスリンは糖を脂肪に運搬する作用のため、肥満を引き起こす。
- 2) 甲状腺機能低下症
内分泌性肥満の中でも最も多い。活動量・基礎代謝・熱産生が落ちることで、肥満になる。
- 3) 偽性副甲状腺機能低下症
同疾患のうち、遺伝子異常に伴うものの中で、肥満を起こすものがある。
- 4) インスリノーマ
インスリンを過剰に分泌するできものが、すい臓にできる。
- 5) 性腺機能低下症
男性においては、男性ホルモン(テストステロン)低下が、女性においては女性ホルモン(エストラジオール)低下が、肥満を引き起こす。
- 6) 多嚢胞性卵巣症候群
女性特有の疾患。月経異常と不妊、またインスリン抵抗性が生じることで、高インスリン血症となり、肥満となる。
- 7) 成人成長ホルモン分泌不全症
成長に必要な成長ホルモンは、体脂肪分解作用があるため、成人してから同ホルモンが低下すると体脂肪量が増加する。

当院は内分泌代謝外来を開設し、内分泌疾患の専門外来診療を行っております。内分泌疾患が疑われる場合には、主治医と相談し、ご連絡ください。



診療科紹介

緩和ケア内科

診療スタッフ

■ 常勤 ■ 非常勤

■ 松下 格司

緩和ケア内科主任部長
医学博士
日本内科学会総合内科専門医・指導医
日本血液学会専門医・指導医
日本リウマチ学会専門医・指導医
日本癌治療学会認定医
日本緩和医療学会暫定指導医

■ 原田 尚毅

緩和ケア内科部長
日本泌尿器科学会専門医
日本泌尿器内視鏡学会認定
泌尿器腹腔鏡技術認定医

■ 中島 三郎

外科部長
医学博士
日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 専門医・指導医

■ 米田 孝一

緩和ケア内科部長
医学博士
日本緩和医療学会 緩和医療専門医
日本心身医学会・日本心療内科学会 心療内科専門医
日本サイコオンコロジー学会 登録精神腫瘍医
日本内科学会 認定内科医 など

語らいの時間を大切にする診療を心がけています。

患者さんとそのご家族にとって、緩和ケア病棟がやすらぎを感じられる生活の場となるよう努めます。
積極的にカンファレンスを行い、チームでより良いケアを提供します。



中島医師

松下医師

原田医師

米田医師

2024年度 診療実績

新規入院患者数：301人 在宅復帰率：46.9%
平均在院日数：22.2日 面談件数：147件

外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	—	—	—	—	—	—
午後	松下 (予約制)	松下 (予約制)	松下 (第2・4・5週) (予約制)	松下 (予約制)	松下 (予約制)	—

※緩和ケア(泌尿器科)原田医師の外来予約についてはお電話にてお問い合わせください。

緩和ケア内科紹介

緩和ケア内科の診療体制は常勤医師3人、非常勤医師1人です。

がん患者さんの症状、つらさを軽減することにより、楽しみを持ち、穏やかに過ごし、希望が叶うなど、生活の質を良くすることを目標として診療しています。

先日はクリスマスにミニコンサートを行い、病棟で楽しい時間を過ごしました。体の症状は医療用麻薬を始めとして薬を上手く使うことで痛みを和らげ、胸水/腹水穿刺・排液も行っています。口腔ケア、褥創の予防目的のケア、リハビリテーションなども提供しています。心理的なつらさに対しては看護師を中心に十分傾聴するなど温かく接することにより軽減できるよう試みています。病棟は22床、全室個室で穏やかに過ごしていただいています。

2025年4月から外科の中島医師が加わり、外科的治療にすぐに対応できるようになりました。泌尿器科出身の原田医師が、腎瘻、尿管ステント、膀胱カテーテル留置などすぐに対応していますので、医療内容が更に充実してきました。

緩和ケア病棟に入院する患者さんは、これまで、当科の医師にかかるのが初めてという方が多かったのですが、原田医師、中島医師が同法人内でがん診療指定病院の今村総合病院と一緒に診療する機会を通じて、より早期からがん患者さんに関わることが可能になり、当病棟への入院に関してスムーズな連携につながっています。加えて月に一度、今村総合病院の緩和ケアチームと合同のカンファレンスを行い、回診にも参加し、より良い連携が可能になるよう、心がけています。ほかにも多くの医療施設から多くの患者さんをご紹介いただいています。当院から療養型病床や在宅診療に移行する患者さんも多く、担当いただく方々とより良い連携を心がけています。

緩和ケア病棟に入院されたのち、自宅で過ごしたいと考えておられる患者さんは、可能な範囲で訪問診療をさせていただいています。自宅での暮らしを拝見し、どのように過ごすのが良いのか、一緒に考えています。がん治療を受けている時期にも関わりを持ち、病棟、ご自宅での診療を切れ目なくサポートすることで、より良い緩和ケアを提供できるよう努めています。

ここ数年は年間270例前後の入院患者さんを診療しています。多くの方が自宅から入院され、一旦自宅に退院されています。退院時の訪問看護師さん、ヘルパーさん等との連携も含めて、今後もさらにも多くの方々との連携を大事にしていきます。



第57回 教えて!先生

高血圧管理・治療ガイドラインが改定されました!

2025年8月に日本高血圧学会が最新の『高血圧管理・治療ガイドライン2025』を公表しました。2019年版からの変更点を含め、大切なポイントをまとめました。



循環器内科
山下医師

まず要点

- 降圧目標は診察室血圧：130/80mmHg未満、家庭血圧：125/75mmHg未満。年齢や合併症の有無に関わらず、基本の目標は同じ。
- 家庭での血圧測定(家庭血圧)が診療の中心。朝・晩の記録を基に治療方針を決めます。
- 生活習慣の実行を重視。減塩に加えて、尿のナトリウム/カリウム比(Na/K比)やアプリの活用など、行動を続けるための工夫を推奨。

2019年版からの主な変更点

- 名称が「治療」→「管理・治療」に：病院の治療だけでなく、家庭での自己管理を重視。
- 血圧の分類は据え置き：高血圧と診断する基準は従来どおり診察室血圧 140/90(家庭血圧 135/85)以上。
- 目標血圧の統一：原則 130/80未満を目指します。
- 生活習慣の新しい評価法：尿Na/K比の活用を提案。減塩だけでなくカリウムを増やす食事を可視化。
- 運動は有酸素+筋力トレーニング：筋トレも血圧を下げる方法として明記。
- 薬の使い方の整理：第一選択薬(CCB/ARB/ACE阻害薬/利尿薬/ β 遮断薬)は継続。早めの併用を推奨。
- 女性・がん治療後などライフステージ別の章を拡充

家庭での血圧の測り方

1. 朝：起床後1時間以内、排尿後、朝食前、服薬前、座位1-2分後に2回。
2. 夜：就寝前に座位1-2分後に2回。
3. 記録：アプリまたは紙で日々の平均をつける(1回ずつの上下より平均値が大切)。
4. 機器：上腕式の家計血圧計を推奨(定期的買い替え・点検)。



生活習慣：今日からできる5つ

1. 減塩 1日6g未満(めん類の汁は残す、加工食品を控える)。
2. カリウムを増やす：野菜・果物・海藻・豆・乳製品をプラス。
※腎不全の方は例外
 - 目安として尿Na/K比 2未満を意識(簡易測定器やアプリの活用)。
3. 体重管理：目安はBMI 25未満。1kg減で血圧も下がりやすくなります。
4. 運動：●有酸素運動(速歩など) 30分×週5日を目標。
●筋力トレーニング(自重でOK) 週2-3回。
5. その他：節酒(日本酒1合/ビール中瓶1本/ワイン2杯までを目安に週に数日の休肝日)、禁煙、睡眠(6-8時間)、便秘を避ける、寒冷時の急な入浴に注意。

お薬について

まず1剤で開始し、目標に届かなければ早めに2剤・3剤の併用へ。



特別な配慮が必要な方

- 高齢でフレイルがある/介護が必要：転倒や腎機能の悪化に注意し、安全第一で個別設定。
- 妊娠を考えている・妊娠中：使える薬が限られます。早めにご相談ください。
- 心不全・腎臓病・脳卒中後：より厳格な管理で再発予防を。
- がん治療中/治療後：薬の相互作用や血圧上昇に注意し、専門医と連携します。

高血圧は放置すると全身の血管の動脈硬化症を引き起こし様々な合併症を起こします。健診受診者の4人に1人が血圧高値を指摘されています。家庭血圧を測定し高値が続くようであれば病院を受診しましょう。

高血圧の10のファクト～国民の皆さんへ～

1. 高血圧は、将来の脳卒中・心臓病・腎臓病・認知症の発症リスクを高める病気です。
2. 日本では、1年間に17万人が、高血圧が原因となる病気^{注1}で死亡しています。^{*1}
3. 日本の血圧コントロール状況は、主要経済国の中で最下位レベルです。^{*2}
4. 上の血圧(収縮期血圧)を10mmHg下げると脳卒中・心臓病が約2割減少します。
5. 高血圧の人では、年齢にかかわらず、上の血圧を130mmHg未満、下の血圧を80mmHg未満まで下げると、それ以上の血圧に比べて、脳卒中や心臓病が少なくなります。
6. 生活習慣病の改善(減塩、運動、肥満の是正、節酒など)で血圧は下がります。
7. 日本人の食塩摂取量は10g/日と世界の中でも高く、高血圧の人は6g/日未満にすることがすすめられています。^{*3}
8. 目標の血圧レベルに達するために、多くの高血圧患者では血圧を下げる薬が2種類以上必要です。
9. 血圧を下げる薬は、安価・安全で効果があり、副作用よりも血圧を下げる利益の方が大きいことがほとんどです。
10. 日本は家庭血圧計が普及しており、家庭での血圧測定は高血圧の診断と治療に役立ちます。

日本の高血圧者4,300万人の血圧コントロール状態(2017年)



- 治療中、コントロールされている
- 治療中だが、コントロール不十分
- 高血圧であることを知らない・知っているが未治療

注1：この場合の「病気」とは脳心血管病を指しています。

出典：*1 The Lancet Regional Health-Western Pacific 2022;21:100377.

*2 高血圧管理・治療ガイドライン2025, Lancet2019;394:639-51.【参考データ】血圧コントロールされている割合(女性)：日本29%、カナダ50%、ドイツ58%、米国54%、韓国53%。同(男性)：日本24%、カナダ69%、ドイツ48%、米国49%、韓国46%。

*3 厚生労働省「日本人の食事摂取基準」(2025年版)、高血圧管理・治療ガイドライン2025、エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023



©2025日本高血圧学会

部署紹介 看護管理室

おじやま
しま〜す♪

看護管理室は、「いづろ今村病院の看護を支える役割」を担う部署です。

患者さん一人ひとりに寄り添い、「心に届く慈愛の看護」を大切にされた看護ケアが実践され、「看護師が安心して力を発揮できる環境づくり」に取り組んでいます。

働きやすい職場づくり、医療安全の推進、多職種との連携、看護職や看護補助者(介護福祉士・ナースエイド)の教育や研修の企画など、現場を支えるさまざまな活動を行っています。

また、現場の声を大切にしながら、より良い看護を実現するための仕組みづくりを進めています。

これからも、いづろ今村病院らしい「慈愛に満ちた看護」を大切に、患者さんとお家族に信頼される看護を目指してまいります。



慈愛会クリニック vol.35

慈愛会クリニックは、糖尿病専門外来クリニックです。糖尿病を患っている方だけでなく、みなさんに気をつけてほしい、特に寒い時期に気をつけたい足のケアと冬の脱水についてお伝えします。

あなたは自分の足を見ることができていますか？
～大切な足を守るために その1～

普段から足にキズを作らないよう注意し、毎日、足を観察してケアを行うことで糖尿病の足病変を予防することができます。それには…

- ◆足を清潔に保ちましょう
 - ・感染を防ぐためには足を清潔に保つことが重要です。
 - ・石鹸をよく泡立てて、軟らかいタオルやスポンジで優しく洗います。
 - ・指の間も忘れずに洗いましょう。
 - ・洗った後は水気をよく拭き取りましょう。皮膚を傷つけないようにこすらず押さえるように拭きましょう。
 - ・皮膚が乾燥している場合は保湿クリームを塗って保湿しましょう。(ただし、指の間は避けましょう。湿って水虫の原因になることがあります)

- ◆爪は切りすぎないようにしましょう
 - ・深爪をしたり、爪の角を切りすぎたりすると、爪の両側が皮膚に食い込んで炎症を起こす陥入爪や、爪が筒状に巻く巻き爪になってしまいます。爪は下の図のように切るようにしましょう。
 - ・普段から足にキズを作らないよう注意し毎日足を観察してケアを行うことで糖尿病の足病変を予防することが出来ます。自分の足は自分で守りましょう！



自分の足は自分で守りましょう！

冬こそ注意! 見えない脱水と血糖管理

脱水と聞くと夏を思い浮かべますが実は、冬も脱水が起こりやすい季節です。特に糖尿病の方は、気づかないうちに体の水分が不足し、血糖値にも影響を与えることがあります。

- ◆なぜ、冬に脱水をおこしやすいのか？
 - ・冬は、汗をかきにくく、喉の渇きも感じにくいいため、水分補給の回数が自然と減ってしまう。
 - ・空気が乾燥している。
 - ・暖房により皮膚や呼吸から水分が失われる。
 - ・トイレが近くなるのを避けて水分を控えてしまう。
- 上記の理由から自覚のない脱水になりやすいのです。

糖尿病と脱水の関係

体の水分が不足すると、血液が濃くなり、血糖値があがりやすくなります。また、脱水が続くと、口渇、尿量の低下、倦怠感、便秘などの症状がでることもあり、体調不良の原因になります。

冬は、「脱水に気づきにくい季節」です。糖尿病の方にとって、水分管理は血糖管理の一部。無理なく、こまめに、毎日の習慣として水分を補給しましょう。



慈愛会クリニック診療スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	今村尚子	今村尚子 伊集院綾子	今村尚子 牧野美和	今村尚子 久保田敬子	今村尚子 牧野美和	池田優子
午後	今村尚子	今村尚子	今村尚子	休診	今村尚子	休診

- 診療時間：午前 8:15～12:30 (木・土曜は～12:15) 午後 2:00～5:00
- 休診日：日曜日・祝日、木・土曜午後
- 診療科目：糖尿病内科・内科 初診の方もご予約ください。
〒892-0822 鹿児島市泉町1-15 ☎(099) 239-0588 (ご予約優先)

今日からできる冬の脱水予防

- ・「喉が渇く前」に飲む。
- ・基本としては、水、白湯、お茶(ノンカフェインやカフェインレスがおすすめ)
- ・室内の乾燥対策 加湿器の使用や濡れタオルを干す等。
- ・尿の色のチェックする。濃い黄色は水分不足のサインです。

※鹿児島県「女性にやさしい医療機関」指定(2007年～)

マンモグラフィ検診施設・画像評価認定

画像診断科は2023年3月より「マンモグラフィ検診施設・画像評価認定」を取得しております。3年に1度の更新時期を迎え、再度、書類審査・臨床画像・ファントム画像・線量の評価を行い、日本乳がん精度管理中央機構が定める基準に合格しました。

今回の更新により前回より1ランク上の認定を取得することができました。(B-1評価)

これからも、マンモグラフィ検診を受診される方が安心・安全に検査できるようスタッフ一同努めてまいります。



慈愛会 多施設合同研修「糖尿病看護」1/28~1/30(3日間)

当院と同じ公益財団法人慈愛会に属する病院施設より8名の看護師が参加し、食事療法をはじめ、低血糖や急性合併症への対応、血糖測定やインスリン注射、フットケアなど、日々の看護実践に直結する知識と技術について理解を深めました。

また、私たち看護師が改めて意識させられたのは、「生活を支える人」としての役割でした。これからも患者さんやご利用者の心理的な変化や行動の背景に目を向け、今後に活かしていきたいと思っております。



クリスマス会

2025年12月24日にクリスマス会を行いました。患者様1人ひとりのもとへ、院長サンタと看護部長率いるたくさんのトナカイが心をこめてプレゼントを届けました。

突然の院長サンタの登場に皆さん驚かれつつも満面の笑みで喜んでくださいました。廊下までお見送りして下さる患者様もいらっしゃいました。



編集後記

いつも広報誌をご愛読いただきありがとうございます。新年より早くも一ヶ月半が経過し、まだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回も無事、広報誌「にじ」78号をお届けすることができました。

昨年は内分泌代謝内科・在宅支援センターの開設、食中毒や冬の感染対策についてなど様々な情報を発信することができました。皆様の健康増進に繋がる情報をお届けできていたら幸いです。

今年も引き続き、皆様に役立つ情報や院内のニュースをお届けできるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

医事課 中元

病院運営方針

1. 医療理念「心と心をつなぐ医療」
2. 基本方針
 - 1) プロフェッショナル《達人》～医療の達人を目指します
 - 2) ハートフル《慈愛》・ハーモニー《調和》・ハピネス《幸福》～慈愛の心で地域と共に人々の幸福を追求します
3. 経営理念「安心できる病院、安定した病院を目指します」

患者様の権利宣言

慈愛会 いづる今村病院は、患者様の立場にたった最良の医療を提供することを目指し、患者様が安全な医療を公平に受けることができる為に、患者様の基本的な権利「患者の権利宣言」(リスボン宣言)を尊重し、以下に関して誠心誠意、努力します。

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を受ける権利
3. 診療に関して説明と情報を受ける権利
4. セカンドオピニオンを求める権利
5. 自己決定の権利
6. 知る権利
7. 秘密保持に関する権利

いづる今村病院は「かかりつけ医」として以下の取り組みを行っています。

- 健康相談の結果に関する相談、健康管理に関する相談に応じます。
- 必要に応じ、専門の医師・医療機関をご紹介します。
- 保健・福祉サービスに関するご相談に応じます。
- 夜間・休日の問い合わせへの対応を行っています。

かかりつけ医機能を有する地域の医療機関の検索ができます▶

★医療情報ネット(ナビイ)



医療福祉相談室 TEL.099-226-2180(直通)

平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30

当院では患者様やご家族のお力になれるよう医療福祉相談室を設けています。医療ソーシャルワーカー(MSW)や看護師がご相談をお受けしています。どうぞお気軽にご利用ください。

看護職員募集

いづる今村病院・今村総合病院
谷山病院・奄美病院・徳之島病院・愛と結の街

安心して仕事に取り組める慈愛会で看護の専門性を磨きませんか?

病院見学・入職ご希望の方
慈愛会看護部支援室へご連絡ください
お問い合わせ/TEL.099-230-0063(直通)



人間ドック専用

ご予約・お問い合わせ電話

月～金/10:00~17:00
土曜日/9:00~12:00
※日曜・祝日は除く

TEL.099-226-5066



受付時間と面会時間

受付時間 平日(月～金) 8:30~12:00 14:00~17:00
土曜日 8:30~12:00
※詳細は裏面の診療プログラムをご覧ください。

面会時間 ※感染防止のため、面会の制限を行っております。
最新の情報はホームページでご確認ください。

かかりつけ患者様 夜間救急サービスのご案内

当院は、患者様への医療サービスの一環として、夜間も電話による診療窓口を開設しております。

かかりつけ救急 099-226-2600

当院かかりつけ患者様の健康を24時間お守りすることが、私たちの使命と考えております。

公益財団法人 慈愛会 グループ

- ◆ いづる今村病院 鹿児島市堀江町17-1
- ◆ 今村総合病院 鹿児島市鴨池新町11-23
- ◆ 谷山病院 鹿児島市小原町8-1
- ◆ 奄美病院 奄美市名瀬浜里町170
- ◆ 徳之島病院 大島郡徳之島町電津5190
- ◆ 高麗町クリニック 鹿児島市高麗町39-11 慈愛の郷1F
- ◆ 慈愛会クリニック 鹿児島市泉町1-15-1F
- ◆ 七波クリニック 鹿児島市真砂本町51番1号ニコムテナント
- ◆ かごしまオナクリック 鹿児島市鴨池新町6-4-2F
- ◆ 慈愛会垂水サテライトクリニック 垂水市本町77
- ◆ 介護老人保健施設 愛と結の街 鹿児島市小原町8-3
- ◆ 世訪訪問看護ステーション愛の街 鹿児島市小原町9-1
- ◆ 鹿児島中央看護専門学校 鹿児島市泉町12-7

外来再診の患者様へお知らせ ★当院は、「予約外来制」です。診察・検査は再診の方でも、事前予約が必要です（前日まで）。

1. 来院時、主治医・看護師への直接予約ができます。
2. 電話で予約▶TEL:099-226-2600(代表)
時間/月～金14:00～17:00 土曜日8:30～12:00(日・祝日を除く)

※原則として、当日の予約はお受けできませんが、お具合が悪く、
受診を希望される場合はご相談のうえ、来院ください。
受付時間/8:30～17:00
※診療日は予告無く変更になる場合がございます。
お電話にてご確認ください。

診療プログラム【外来診療担当医と専門外来】 令和8年2月1日現在

午前

診療科	部屋	月	火	水	木	金	土
総合外来	1	山下	山下	長野	木佐貴	木佐貴	第1・3・5週 木佐貴 第2週 長野 第4週 山下
	2	松元	高塚	高塚	竹内	竹内	有村(光)
	5	(外科)中島	—	(外科)大久保	(外科)瀧川	(外科)瀧川	—
	6	(皮膚科)川上	(内分泌代謝内科)新中須	(皮膚科)川上	(皮膚科)川上	(皮膚科)川上	高塚/竹内
	7	*久保	*橋口	*牧野	*久保	*橋口	*田川
婦人科	2(2階)	比良	森	比良	比良	比良	森(健診)
I B D 外来	3(2階)	—	大井	大井	—	大井	大井
消化器外来	5(2階)	生駒	時任	時任	時任	生駒	時任
糖尿病内科	1(3階)	鎌田	鎌田	鎌田	田川	松下(亮)	新中須
	2(3階)	上久保	田川	上久保 新中須(第3週)	新中須	大重	—
眼科	5(3階)	—	藤原	藤原	藤原	—	第1週 当番医師 第2週 当番医師
	6(3階)	—	—	—	—	—	第3週 鹿大医師 第4週 当番医師
	7(3階)	水島(由)	水島(由)	土居(隔週)	土居(第2週)	鹿大医師	第5週 当番医師
	8(3階)	水島(崇)	水島(崇)	水島(崇)	—	—	—
リンパ浮腫外来	1(5階)	—	—	—	長野(第2週)	—	—
健康センター		田口・内田・西本・竹内 常盤(第1・3・5週) 木佐貴(第2・4週) 濱田(第1・2週)	常盤・内田・久保田 大久保・進藤	常盤・久保田 田口・西本・竹内	常盤・内田・西本 大久保・緒方	常盤・内田 久保田・田口 竹内(第1・3週) 塗木(第2・4週)	松口
内視鏡センター		時任・田代 徳元・小牧	生駒・田代 塗木・奈良	田代・生駒 三重・塗木	田代・徳元 三重・水流	田代・徳元・上田	小牧(第1・3週) 山元(第2・4週) 生駒(第5週)

午後

診療科	部屋	月	火	水	木	金	土
総合外来	1	木佐貴	長野	木佐貴	山下	山下	—
	2	—	高塚	—	竹内	竹内	—
	5	緩和ケア内科(予約制) 松下	緩和ケア内科(予約制) 松下	緩和ケア内科(予約制) 松下(第2・4・5週)	緩和ケア内科(予約制) 松下	緩和ケア内科(予約制) 松下	—
	6	皮膚科(15:30迄) 川上	—	皮膚科(15:30迄) 川上	皮膚科(15:30迄) 川上	皮膚科(15:30迄) 川上	—
	7	*橋口	*久保	*牧野 *久保(第4週)	*橋口	*久保	—
婦人科	2(2階)	比良	森	比良	比良	比良	—
I B D 外来	3(2階)	大井	大井	大井	—	大井	—
消化器外来	5(2階)	生駒	時任	時任	時任/生駒	生駒	—
眼科	5(3階)	—	藤原	藤原	藤原(第1週を除く)	—	—
	6(3階)	—	—	—	—	—	—
	7(3階)	水島(由)	水島(由)	土居(隔週)	—	鹿大医師	—
	8(3階)	水島(崇)	水島(崇)	水島(崇)	—	—	—
リンパ浮腫外来	1(5階)	—	—	—	長野(第3・4週)	—	—
手術日		眼科	眼科	眼科	—	—	—

(*1) 再診は予約制となります。(*2) 学会等により休診になる場合もあります。また、この診療プログラムは予告無く変更になる場合がありますので、予めご了承願います。(*3) 眼科の月・火・水は手術のため、担当医が変更になる場合がありますので、予めご了承願います。



公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院

〒892-0824 鹿児島市堀江町17-1
TEL. 099-226-2600 FAX. 099-225-5181

ホームページはコチラ▶



みなさまという今村病院を
つなぐかかげ橋
広報紙 Niji



2026 Winter

発行/公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 広報委員会 季刊